



JCOG
Japan Clinical Oncology Group

資料 2

日本臨床腫瘍研究グループ JCOG (Japan Clinical Oncology Group)

国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門
/JCOG運営事務局長
片山 宏

JCOGとは

日本臨床腫瘍研究グループ (Japan Clinical Oncology Group)

- ◆ 1990年創立の日本最大の研究者主導多施設共同研究グループ
- ◆ 188医療機関、7,700人以上の研究者・CRC、106臨床試験を臨床研究支援部門が直接支援



国立がん研究センター



基盤的研究費 + 監視

JCOG
Japan Clinical Oncology Group

JCOG代表者

16専門領域研究グループ (臨床研究の実施主体)

リンパ腫 肺がん内科 胃がん 乳がん 放射線治療 肝胆膵 泌尿器科 消化器内視鏡
食道がん 肺がん外科 大腸がん 婦人科 骨軟部腫瘍 脳腫瘍 頭頸部がん 皮膚腫瘍

データセンター/運営事務局
(臨床研究の支援)

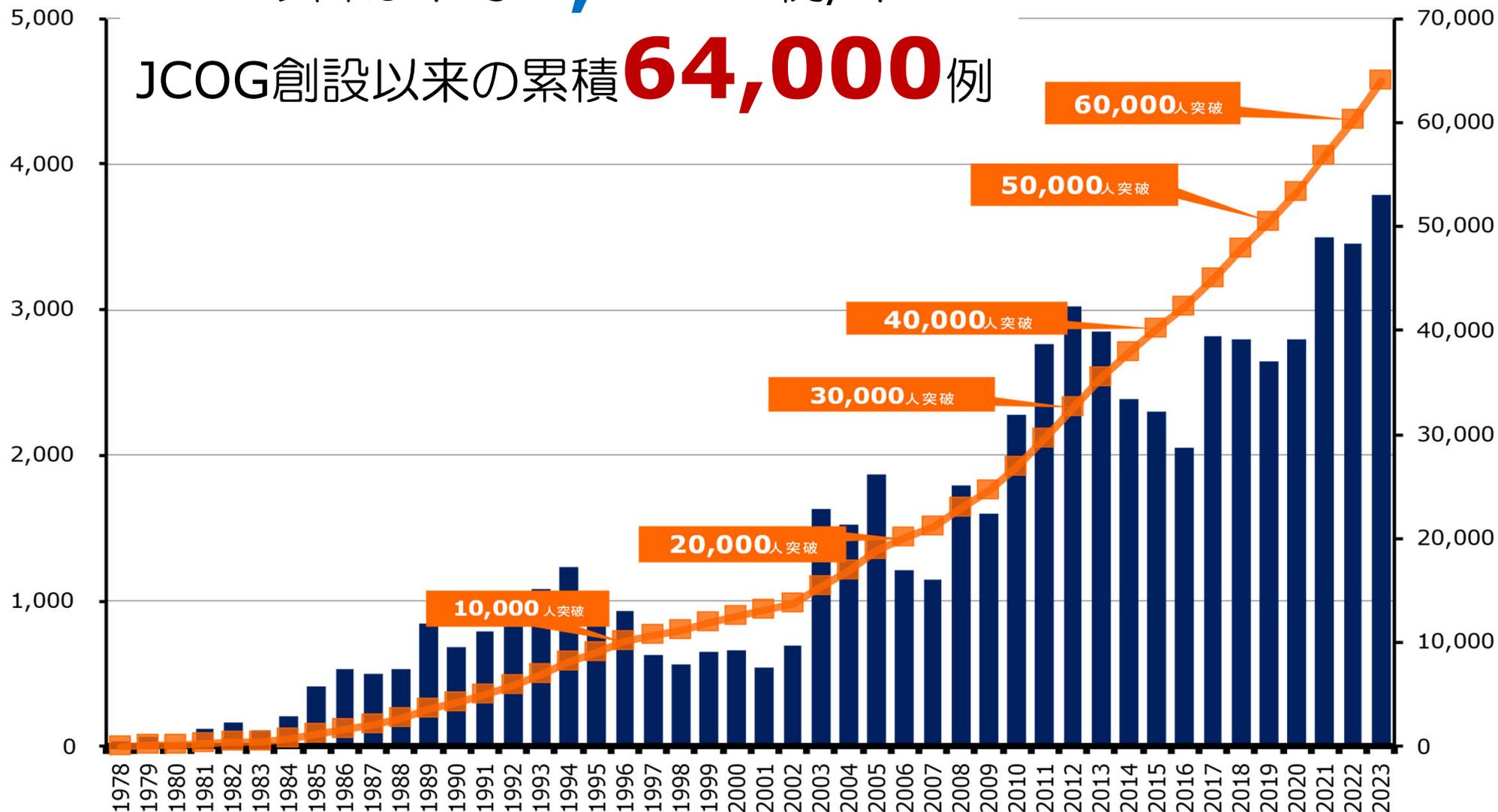
各種委員会
(第3者的監視・管理)

登録患者数の変遷

2021以降は平均**3,600**例/年

JCOG創設以来の累積**64,000**例

年間登録数



累積登録数

JCOGのミッション

■ JCOGの目的と目標

- 新しい治療法の開発や検証的試験の実施を通じて、**科学的証拠に基づいて患者に第一選択として推奨すべき治療である標準治療や診断方法等の最善の医療を確立すること**を目的として研究活動を行う。
- この研究活動を通して、**各種がんの治療率の向上とがん治療の質の向上を図ること**を目標とする。

がん治療開発におけるJCOGの役割

企業が行わない治療開発

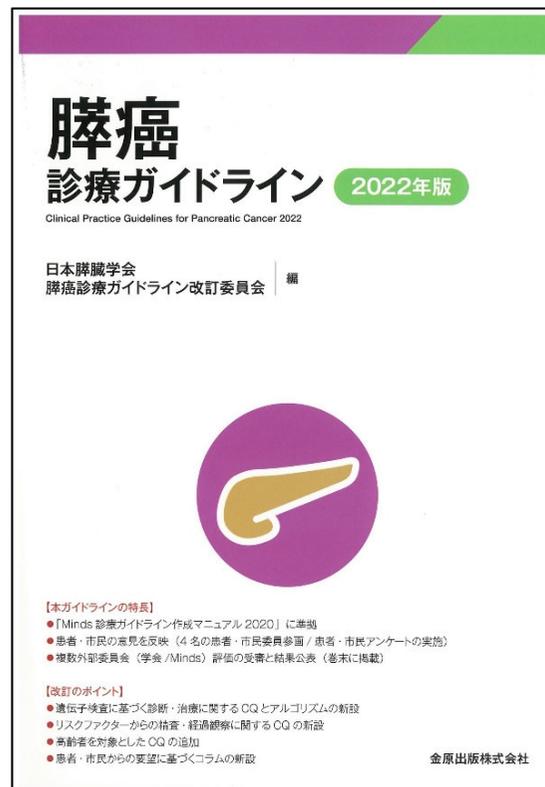
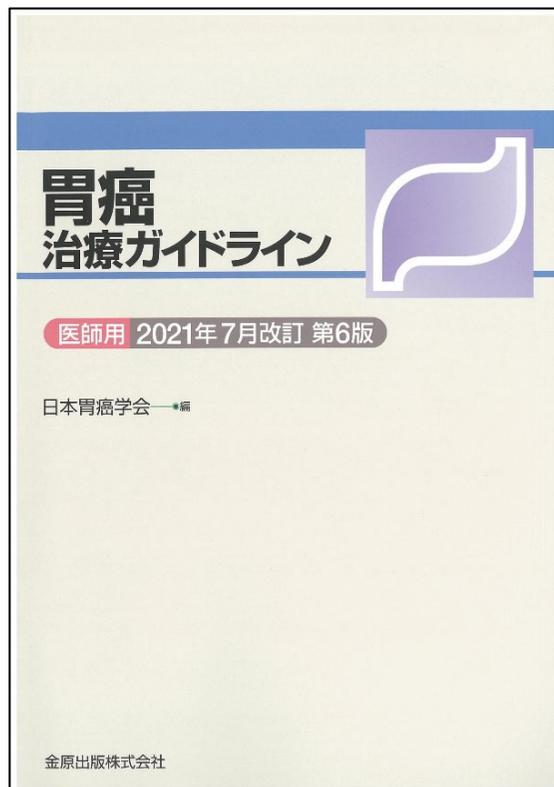
- **集学的治療・手術・放射線治療の臨床試験**
 - 化学放射線療法の評価
 - 手術手技の評価
- **ライバル社の薬剤の直接比較、治療期間短縮**
 - 術後補助化学療法の薬剤比較
 - 術後補助化学療法の治療期間短縮
- **希少がん/希少集団を対象とした試験**
 - 小腸がん、小児がん、肉腫
 - 高齢者、バイオマーカー (+) の希少がん

治療（診療）ガイドライン

- 診療上の重要度の高い医療行為について、エビデンスの系統的レビューとその総体評価、益と害のバランスなどを考量して、**患者と医療者の意思決定を支援するために最適と考えられる推奨を提示する文書**

「Minds診療ガイドライン作成の手引き 2014（医学書院）」より一部改変

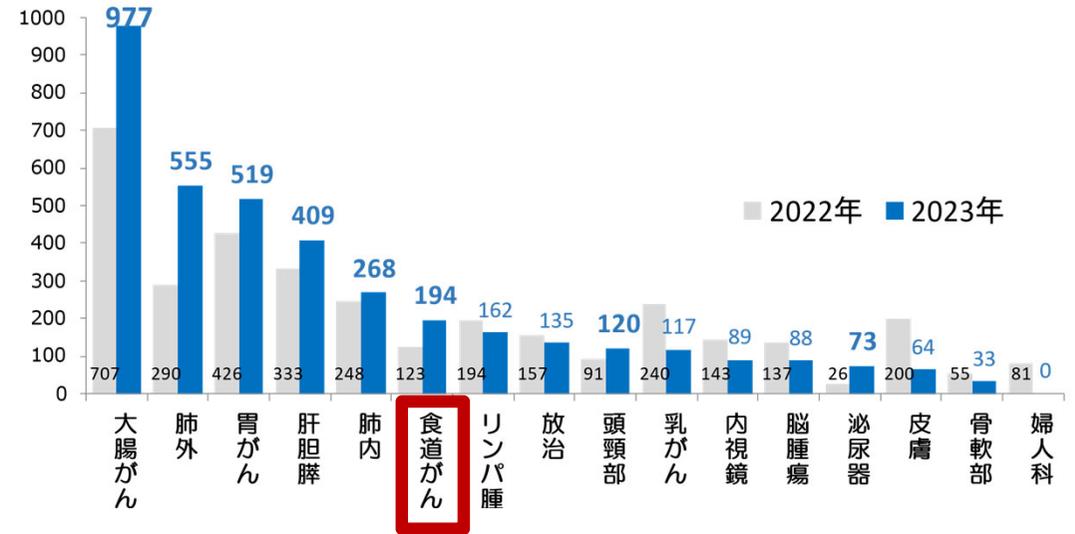
- 日本では各がん種ごとの学会が作成



食道がんグループ

- ・ 1978年設立（最も歴史あるグループ）
- ・ 国内唯一の食道がん研究グループ
- ・ 集学的治療の開発を数多く行うグループ

年間登録患者数



論文数と引用数 (2018-2022出版)



診療ガイドライン掲載数

